

7千情報

フードバンク神奈川より
フードバンク・ドライブ寄贈数
量と提供状況について

2019年度の結果

計画目標 60トン/年

寄贈 約97トン/年

提供 約92トン/年

【2020年度の状況】

コロナ感染症対策による雇用不安・休校により行政・社協・地域のフードバンク・子ども食堂等への提供が増加。特に米のニーズが倍増し在庫がなくなることも。最近では生活困窮の学生への提供も始まりました。

タオル1本&フードドライブ

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため屋外でのメーデーが中止となり、毎年恒例のタオル1本運動とフードドライブを実施することが叶いませんでした。しかし、いくつかの加盟組織(単組)からタオルとフードの寄付をいただきました。コロナ感染症対策で外出自粛や休業、在宅勤務など行動に制限がある大変なときにご協力を頂き感謝いたします。また、5月25日に緊急事態宣言の解除が政府より発表されました。神奈川県も独自の対策で3密を警戒しながら今後は徐々に緩和していくこととしていきます。つきましては、改めて皆さんからの支援の気持ちをもつた「たのめ」にも次の日程でタオル1本とフードドライブを実施いたします。

次回の回収は6月30日です

ルとフードの集約をお願いしますので、いま一度ご協力のほどよろしくお願いたします。

回収について

・産別or単組にて集約したら事務局までご連絡ください。

連絡先 県中央事務局 中尾 tel 0467-76-4067

回収期日

・【6月30日(火)】

綾瀬市長選挙

7月12日(日)

投開票日



こしおまさよし
古塩政由
(現1期)

二期目にチャレンジ

市長に就任して以来、継続と革新を基本姿勢として、産業の活性化や子育て環境の充実など5つの政策を柱に、多くの政策を推進してきました。少子高齢化、人口減少社会に向

けて、綾瀬市が今後とも持続可能な都市として発展していくためには、生活の質の向上、地域資源の活用、効率的な都市経営が不可欠です。まちづくりを市民との「共同作品」として進めてまいりますので、ご支援

連合神奈川と県中央地域連合は、古塩市長の推薦を決定いたしました。
5月26日(火)連合神奈川第351回執行委員会にて決定。



連合神奈川と県中央地域連合にて

推薦を決定しました。

プロフィール

生年月日 1951年5月7日 69歳

住所 綾瀬市吉岡3344

出身地 綾瀬市

家族 妻、子供1人、実母

経歴

- 綾瀬小学校、綾瀬中学校、厚木高等学校卒業、上智大学(文学部、法学部)卒業
- 1977年神奈川県庁入庁
- 2006年綾瀬市教育長に就任
- 2009年綾瀬市副市長に就任
- 2016年綾瀬市長に就任

定額給付金申請の期限

5月末までに4市全てにおいて定額給付金の申請書の発送(郵送)が開始されました。また、各自治体毎に申請書の記載内容が異なります。特に「給付金を受けるか否か」の記入については、レ点チェック等間違えないよう注意が必要です。なお、下記にあるように申請期限も各市で異なりますのでご注意ください。早めの申請をお願いします。

自治体名	郵送申請期限
海老名市	8月21日(金)
綾瀬市	8月15日(土)
座間市	8月25日(火)
大和市	8月31日(月)

「コロナ食堂」の存続ですが

6月1日〜30日の期間、県内4店舗(戸塚、上大岡、平塚、大船の休業中の店舗)で、ひとり親世帯、アルバイト先が休業している学生、失業・解雇者、等の方を対象に、左のチラシを持参いただくと、無料(日替わりメニュー)で食事を提供しています。詳しくは事務局までご連絡ください。



ちょっとコラム

給付金申請でこんなことが?

定額給付金の申請はお済でしょうか?5月中旬に独り暮らしの義理の母の家に申請書が届いたので申請を手伝うことにしました。申請のしかたは比較的簡単なものでしたが、免許証など身分証明となるものと振込口座の通帳のコピーの添付が必要でした。しかし、近所にはコンビニがありません。また、母は免許証を持っていないので介護保険証のコピーをとることにしました。両面を印刷する必要があるので、介護保険証の裏面はプライバシーシールが張り付けてありコピーをとつてもなにも記載されていません。不安に思い市役所の窓口にお問い合わせでも明確な回答を得られませんでした。高齢者にとって、離れた場所にあるコンビニにコピーを取りに行くということも大変なことです。コロナ禍の中での急な対応となり給付にあたる関係各方面の対応に感謝するとともに、これからは独り暮らしの老人や自由が利かない生活者にもっと優しい社会になるよう願うところです。



とことんこつこつ4年半。市民パワーで政治を変える

県央エリアでパワー全開!

連合の日などの街宣活動で積極的に参加いただいている国民民主党13区総支部長の太栄志さんをご紹介します。

<https://futori.net/>

これまで4年半、徹底して地域を歩いてきました。3万軒を目標に始めた挨拶回りは4万軒を超え、各地区で毎月開催してきたタウンミーティングも55回を数えました。毎朝早くから出勤する働く皆さんの姿に励まされ、私も雨や雪の日も毎朝街頭に立つて国政への想いを訴えてきました。しかし、見えてきたのは、国民の政治不信でした。

タウンミーティングで「与党には強い怒りを覚え、野党には失望している。政治は私たちの生活を全く考えてくれない」との50代の女性からの言葉が今でも深く突き刺さっています。今こそ政治を国



民に取り戻さなければなりません。コロナ危機で、国が何でも決めて国民や地方がそれに従うトップダウンの中央集権体制の限界が明らかになりました。地域の特色や個人の幸せのあり方に合わせて現場の創意工夫や活力を最大限に活かす、ボトムアップの分散型社会が求められます。その主役は一人ひとりの市民です。今回、コロナ対策の10万円給付金の実現や検察庁法改正阻止など、多くの市民の声で政治が変わりました。



ふとり ひでし
太 栄志
国民民主党神奈川県第13区総支部長

プロフィール
ハーバード大学、米シンクタンク研究員を歴任。対等な日米関係をつくり、もっともっと豊かで平和な日本にするために米軍基地を2つ抱える神奈川県13区から国政を志す。

だからこそ私は引き続き、生活者や働く皆さんの声に寄り添い、「草の根」の市民パワーを結集して新時代の日本づくりにまい進してまいります。

